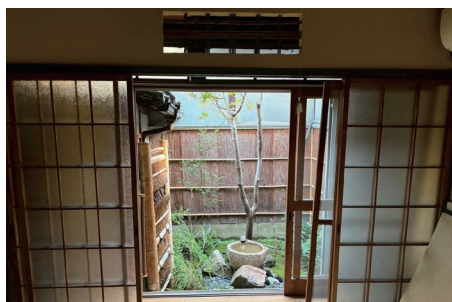


FUKUSHIMA

福島

FUKUSHIMA



6 玉二三長屋

第二次大戦で焼け残った福島区野田エリアに佇む、築130年以上になる五軒長屋と母屋の造りを母屋の庭から眺めていただけます。

所在地：大阪市福島区野田3丁目2-1 田中宅、2-2 安藤宅
公開時間：両日 10:00 ~ 15:00

野田地区の特徴

大阪市福島区野田地区は、JR環状線大阪駅から2駅のところに位置しています。梅田という都心部から近い距離にあるまちですが、空襲の被害から逃れたため、昔ながらの長屋やまちなみが現在も数多く残っている地域です。

KARAHORI

空堀

KARAHORI



7 種ノ箱（露地再生複合施設 幸）

戦後に建てられた長屋で、露地の奥まで1階と2階の引き戸が並んだ重層長屋でした。リノベーションにより大小様々なテナントが入居し、その中でも種ノ箱は普段お茶のセミナーや少人数のイベントを行う茶の間となっています。ゆるい読書会（本を使った遊び、本占いの一種、直観読みブックマーカー）を予定しています。

所在地：大阪市天王寺区空堀町11-8

露地再生複合施設 幸 2F

公開時間：両日 11:00 ~ 17:00, 19:00 ~ 21:00

連絡先：06-7177-8759



重層長屋とは

重層、一般的には二階建ての長屋で、1階と2階とでは住戸が異なる。狭い敷地でも多くの住戸を確保できる。ちなみに、江戸時代の「守貞稿」によると「裡（うら）長屋には稀に平屋中二階もあるか。」とあり、構造だけを見れば中二階ではあるが、すでに江戸時代に長屋の重層化が始まっていた可能性がある。